

地球温暖化対策実施状況報告書

2020 年 10月 27日

（報告先）
横浜市長

住所 横浜市中区本町2-22
氏名 地方独立行政法人神奈川県立病院機構
理事長 吉川 伸治

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 (代表者の氏名)	地方独立行政法人神奈川県立病院機構 理事長 吉川 伸治				
事業者の主たる 事業所の所在地	横浜市中区本町2-22				
主たる事業の業種	大分類	P 医療、福祉			
	中分類	83 医療業			
該当する 事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）			
	原油換算エネルギー使用量	12,612	kl	自動車の台数	台

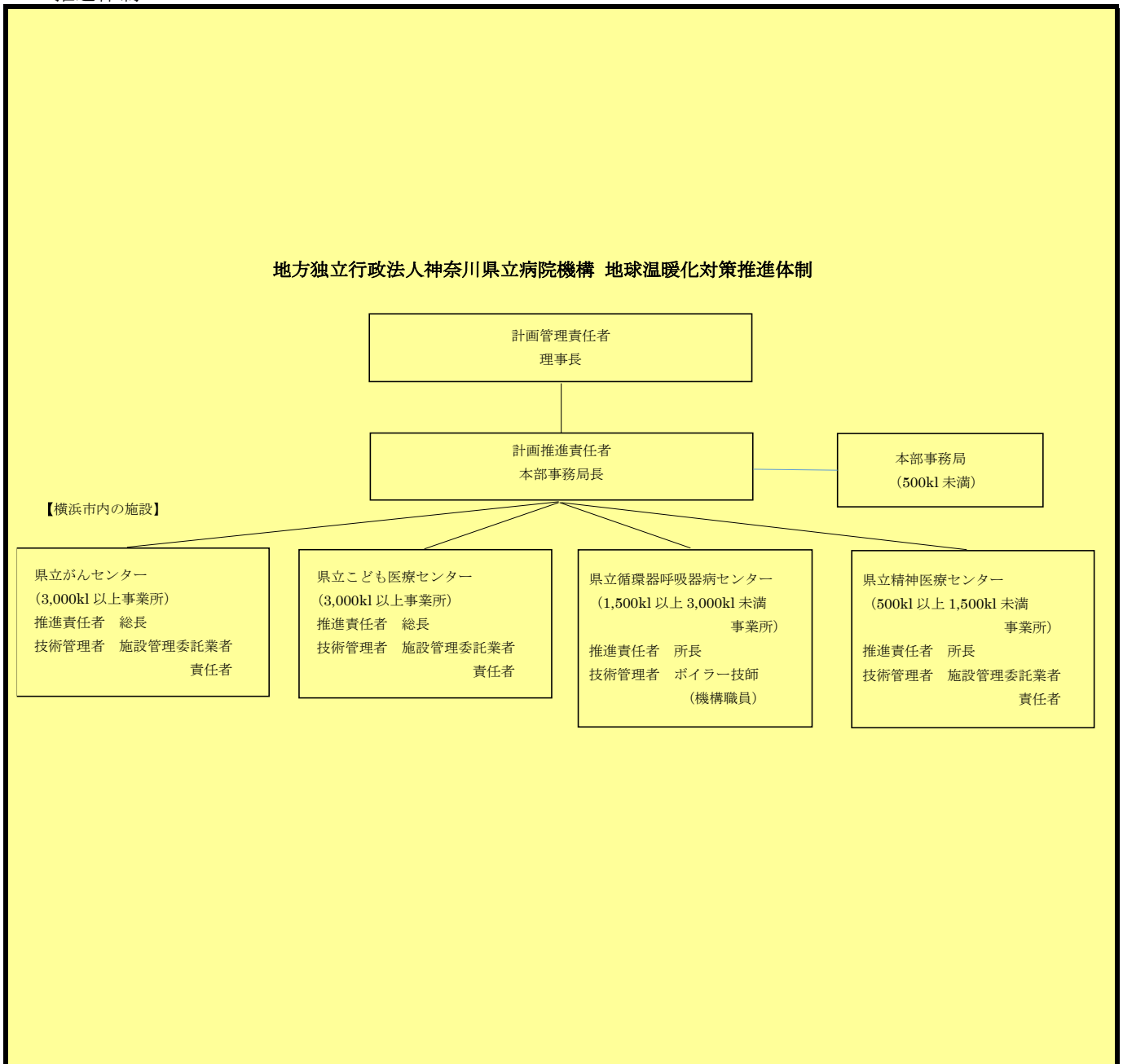
2 計画期間及び実施年度

計 画 期 間	2017	年度 ~	2019	年度	実 施 年 度	2019	年度
---------	------	------	------	----	---------	------	----

3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

<p>[基本方針]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県立病院の運営者として医療の質の担保及び患者の安全と療養環境の維持を最優先とし、地球温暖化対策に取り組む。 ・ 地球温暖化対策に対する組織全体及び職員一人一人の意識を高める。 ・ 地球温暖化対策への取り組みは日常的・継続的に実施する。 <p>[主要なエネルギー使用設備の更新等の検討]</p> <p>①更新の対象となる主要なエネルギー使用設備 老朽化が著しい設備の優先的な更新を検討していきたい。</p> <p>②上記①の設備を選択した理由 老朽化による事故の防止および最新機器に更新することでエネルギー効率の向上を図る。</p> <p>③設備更新スケジュール 費用面を含め今後の検討課題とする。</p>
--

4 推進体制



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	
窓口で閲覧	閲覧場所	本部事務局総務企画部
	所在地	横浜市中区本町2-22 京阪横浜ビル4階
	閲覧可能時間	9:00~17:00
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 (2016年度)	基準排出量	27,716	t-CO ₂			基準原単位	181.34	t-CO ₂ / 千m ²
	調整後	27,392	t-CO ₂			目標原単位	175.90	t-CO ₂ / 千m ²
目標年度 (2019年度)	目標排出量	26,885	t-CO ₂	削減率	3.0 %	削減率	3.0 %	
排出の抑制に係る 目標の設定の考え方	<p>当機構は県立がんセンター、県立こども医療センター、県立循環器呼吸器病センター、県立精神医療センターを運営している。ベッド数は4病院合わせ1,396床であり、県立がんセンターでは神奈川県で唯一の重粒子線治療を行っている。4病院ともに専門性が高く治療や療養環境の維持に多くのエネルギーを使用している。</p> <p>3年間の計画として「エネルギーの使用の合理化に関する法律」で求められている年1%の削減努力を目標とし、個々の職員が「できることから始める」という意識をもち、日常的かつ継続的に温室効果ガス排出に努めたいと考える。</p>							
事業者全体としての 目標等								
第一年度 (2017年度)	排出量	27,161	t-CO ₂	削減率	2.0 %	排出原単位	177.70	t-CO ₂ / 千m ²
	調整後	26,267	t-CO ₂	削減率	4.1 %		削減率	2.0 %
目標等の達成状況 及び説明	<p>各病院の事務部門では始業前、昼休み等のこまめな消灯や、蛍光灯間引き、LED照明への転換を進めている。特に県立がんセンター設備室（電気室）の空調機の運転台数減（10台→6台）、冬季期間の外気換気利用の冷却実施により、電力量が料金換算で10%削減したことや、冷温水に使用しているチラーの放熱器の表面を中間期（春、秋）2回、高圧洗浄機で洗浄し、2～6%電力量が減少したことなどが削減率に大きく寄与したと考えられる。引き続き、最適な温度設定管理や職員への省エネ意識の徹底に努めたいと考える。</p>							
第二年度 (2018年度)	排出量	26,982	t-CO ₂	削減率	2.6 %	排出原単位	176.53	t-CO ₂ / 千m ²
	調整後	25,654	t-CO ₂	削減率	6.3 %		削減率	2.7 %
目標等の達成状況 及び説明	<p>各病院の事務部門では始業前、昼休み等のこまめな消灯や、蛍光灯間引き、LED照明への転換を進めている。また、職員のエレベーター使用制限等を行い、使用電力の削減を行っている。特に当該年度において、県立こども医療センターでは、平成31年1月から冷温水発生装置のポンプの効率的稼働システムを導入し、3カ月間で電力量を118,056kWh、CO₂を42.5 t削減し、削減率に寄与したと考えられる。</p>							
第三年度 (2019年度)	排出量	25,188	t-CO ₂	削減率	9.1 %	排出原単位	164.80	t-CO ₂ / 千m ²
	調整後	23,745	t-CO ₂	削減率	13.3 %		削減率	9.1 %
目標等の達成状況 及び説明	<p>各病院の事務部門では始業前、昼休み等のこまめな消灯や、蛍光灯間引き、LED照明への転換を進めている。これらの地道な努力により、着実に排出量の削減を行うことができた。</p>							
計画期間全体の排出 状況に関する説明	<p>設備の老朽化に伴う入れ替え時に、より効率性の高いものを導入するなどし、温室効果ガスの削減に着実に務めた。結果、目標の年1%削減を達成し、最終的に9.1%の削減となった。今後も医療の提供に支障のない範囲で温室効果ガスの削減を行えるよう、努力を重ねていく。</p>							

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 （年度）	基準排出量		t-CO ₂			基準原単位		t-CO ₂ /	
	調整後		t-CO ₂			目標原単位		t-CO ₂ /	
目標年度 （年度）	目標排出量		t-CO ₂	削減率		%		削減率	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方									
事業者全体としての目標等									
第一年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率		%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率		%			削減率
目標等の達成状況及び説明									
第二年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率		%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率		%			削減率
目標等の達成状況及び説明									
第三年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率		%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率		%			削減率
目標等の達成状況及び説明									
計画期間全体の排出状況に関する説明									

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)
3,000k l 以上	2	22,379	2	21,688	2	21,240	2	19,762
1,500k l 以上 3,000k l 未満	1	3,154	1	3,222	1	3,472	1	3,176
500k l 以上 1,500k l 未満	1	2,135	1	2,234	1	2,254	1	2,234
500k l 未満	1	48	1	17	1	16	1	16
合計	5	27,716	5	27,161	5	26,982	5	25,188

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)
普通貨物自動車								
小型貨物自動車								
大型バス								
マイクロバス								
乗用自動車								
合計								
低公害かつ低燃費な車の 導入割合(%)		%		%		%		%

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

9の1 重点対策の実施状況（第1号及び第2号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度							
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況
第1号及び第2号該当事業者	1 推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	5/5	—	年度		実施済	5/5	—	年度		実施済	5/5	—	年度			
	2 主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	事業者全体(市内分)	実施中	実施中	0/5	—	年度	現時点で新たな設備の更新計画はなし。建物自体が老朽化しており、今後の方針が決定してから検討となる。予算の調整が必要。	実施中	0/5	—	年度	現時点で新たな設備の更新計画はなし。建物自体が老朽化しており、今後の方針が決定してから検討となる。予算の調整が必要。	実施中	3/5	—	2024年度			
	3 機器管理台帳の整備	事業者全体(市内分)	実施中	実施中	2/5	—	年度	予算の調整が必要。	未達成。引き続き台帳を作成する。(がんC)	実施中	2/5	—	年度	予算の調整が必要。	実施中	3/5	—	2024年度		
	4 照明設備の運用管理	事業者全体(市内分)	実施中	実施中	3/5	—	2019年度		病院棟B1F～2階の照明時間の適正化実施(がんC)	実施中	3/5	—	2019年度		病院棟B1F～2階の照明時間の適正化実施(がんC)	実施中	4/5	—	2022年度	
	5 エネルギー使用量の把握	個別票対象事業所	実施済	実施済	4/4	—	年度		実施済	4/4	—	年度		実施済	4/4	—	年度			
	6 各種図面の整備	個別票対象事業所	実施中	実施中	3/4	—	年度	予算の調整が必要。	実施中	3/4	—	年度	予算の調整が必要。	実施中	3/4	—	2024年度			
	7 外気導入量の適正管理	個別票対象事業所	実施中	実施中	2/4	—	年度	予算の調整が必要。	実施中	2/4	—	年度	予算の調整が必要。	実施済	4/4	—	年度			
	8 フィルター等の清掃	個別票対象事業所	実施中	実施中	3/4	—	2018年度		データ分析中(がんセンター)	実施中	3/4	—	2019年度		データ分析中(がんセンター)	実施済	4/4	—	年度	
	9 ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	個別票対象事業所	実施中	実施中	3/4	—	2018年度		データ分析中(がんセンター)	実施中	3/4	—	2019年度		データ分析中(がんセンター)	実施済	4/4	—	年度	
	10 変圧器の需要率管理、効率管理	個別票対象事業所	実施中	実施中	1/4	—	年度	変圧器の需要率と負荷率については計測できる設備を全てに設置する予定はないため。(がんC)予算の調整が必要。	実施中	1/4	—	年度	変圧器の需要率と負荷率については計測できる設備を全てに設置する予定はないため。(がんC)予算の調整が必要。	実施中	2/4	—	2024年度			
	11 室内温度の適正管理	事業所	実施中	実施中	2/5	—	年度	予算の調整が必要。	実施中	2/5	—	年度	予算の調整が必要。	実施済	5/5	—	年度			
	12 地下駐車場の換気管理	事業所	非該当	非該当	/	—	年度	4病院および本部事務局に地下駐車場を有していない。	非該当	/	—	年度	4病院および本部事務局に地下駐車場を有していない。	非該当	/	—	年度	4病院および本部事務局に地下駐車場を有していない。		
	13 照明設備の高効率化	事業所	実施中	実施中	2/5	—	年度	LED化への移行。費用対効果の検討が必要。予算の調整が必要。	LED化への移行。費用対効果の検討が必要。予算の調整が必要。	実施中	2/5	—	年度	LED化への移行。費用対効果の検討が必要。予算の調整が必要。	実施中	3/5	—	2023年度		
	14 事務所機器の待機電力管理	事業所	実施中	実施中	1/5	—	年度	予算の調整が必要。	実施中	1/5	—	年度	予算の調整が必要。	実施中	3/5	—	2024年度			
	15 機器性能管理	設備	実施中	実施中	16/48	16/48	2018年度		データ分析中(がんセンター)	実施中	16/48	16/48	2019年度		データ分析中(がんセンター)	実施中	21/40	21/40	2023年度	
	16 冷凍機の冷水出口温度管理	設備	実施中	実施中	18/23	18/23	2019年度		データ分析中(がんセンター)	実施中	18/23	18/23	2019年度		データ分析中(がんセンター)	実施済	23/23	23/23	2023年度	
	17 燃焼設備の空気比管理	設備	実施中	実施中	2/6	2/6	2019年度		データ分析中(がんセンター)	実施中	2/6	2/6	2019年度		データ分析中(がんセンター)	実施済	16/16	16/16	2023年度	
	18 排出ガス温度の管理	設備	実施中	実施中	9/19	9/19	2019年度		データ分析中(がんセンター)	実施中	9/19	9/19	2019年度		データ分析中(がんセンター)	実施中	16/22	16/22	2022年度	
	19 蒸気配管のバルブ等の保温	設備	実施中	実施中	71/81	71/81	年度	平成32年度以降を予定。一部実施しているが、全て実施する予定はない(こどもC)	実施しているが、更に保温箇所を選定中(がんセンター)	実施中	71/81	71/81	2020年度		平成32年度以降を予定。一部実施しているが、全て実施する予定はない(こどもC)	実施中	39/114	39/114	2024年度	
	20 工業炉表面の断熱強化	設備	非該当	非該当	/	/	年度	工業炉の利用想定がない	非該当	/	/	年度	工業炉の利用想定がない	非該当	/	/	年度	工業炉の利用想定がない		
	21 コンプレッサの吐出圧の適正化	設備	実施中	実施中	4/9	4/9	2018年度		データ分析中(がんセンター)	実施中	4/9	4/9	2019年度		データ分析中(がんセンター)	実施済	9/9	9/9	2023年度	
	22 コンプレッサの吸気管理	設備	実施中	実施中	4/9	4/9	2018年度		データ分析中(がんセンター)	実施中	4/9	4/9	2019年度		データ分析中(がんセンター)	実施済	9/9	9/9	2023年度	

9の2 重点対策の実施状況（第3号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度					
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)
第3号該当事業者	23 推進体制の整備	事業者全体(市内分)		/	—	年度			—	年度					/	—	年度	
	24 自動車の適正な使用管理	事業者全体(市内分)		—	/	年度			—	年度				—	/	年度		
	25 エネルギー使用量等に関するデータの管理	事業者全体(市内分)		—	/	年度			—	年度				—	/	年度		
	26 エコドライブ推進体制の整備	事業者全体(市内分)		/	—	年度			—	年度				/	—	年度		
	27 自動車の適正な維持管理	事業者全体(市内分)		/	—	年度			—	年度				/	—	年度		

10 目標対策及び事業者の発意による対策の実施状況

- （注意事項） ・対策の効果が重複して計上されない様にご注意ください。
 ・燃料・熱・電気等の使用量は、一年間での値に換算して記入してください。
 ・記載欄が不足する場合は、横浜市へご連絡ください。

		削減量合計 事業者総排出量		事業者総排出量 (t-CO2)	CO2排出量合計① (t-CO2)			CO2排出量合計② (t-CO2)			削減量合計 (t-CO2)				
		%													
連番	具体的な対策	事業所名	対策の実施年度 (西暦)	実施前				実施後				削減量 □(t-CO2)	投資金額		
				実施前の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量		CO2排出量 (t-CO2)	実施後の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量		CO2排出量 (t-CO2)				
					種別	使用量			単位	種別				使用量	単位
															千円
															千円
															千円
															千円
															千円

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1	太陽光発電設備（こども医療センター）	2011年度	型式 KS2084P-3CJCA、最大出力208.4W	R1年度発電量15,772KWh
2	太陽光発電設備（精神医療センター）	2014年度	多結晶シリコン太陽電池(101.92kw) 最大出力245w 開放電圧37.33v	R1年度発電量113,605KWh
3	太陽光発電設備（がんセンター）	2013年度	100kw発電	R1年度120千kwh 【参考】H30年度発電量
4	コージェネレーション（精神）	2014年度	ガスエンジン 350kW×1	R1年度発電量385,293KWh 廃熱回収熱量 0.55296GJ、廃熱回収率 51.5% 発電効率 33.5%（全て1100/分）
5	コージェネレーション（がんセンター）	2013年度	発電用ガスタービンで370kW×2	R1年度2183千kwh

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1	電気の使用	2019年度	横浜市内事業所	1,443	東京電力エナジーパートナー(株)
2		年度			
3		年度			
4		年度			
5		年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	<ul style="list-style-type: none"> 紙類のリサイクル回収、ごみの分別の徹底、ペットボトルキャップの回収（機構全体） 雨水、厨房排水再利用による水使用の抑制（がんセンター） 節水コマの取付、井戸水の使用、敷地内の緑化（こども医療センター） 井戸水の使用、ゴーヤのグリーンカーテンによる遮光（循環器呼吸器病センター）
計画期間内に実施する対策	上記の取り組みを継続する。
第一年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 紙類のリサイクル回収、ごみの分別の徹底、ペットボトルキャップの回収（機構全体） 雨水、厨房排水再利用による水使用の抑制（がんセンター） 節水コマの取付、井戸水の使用、敷地内の緑化（こども医療センター） 井戸水の使用、ゴーヤのグリーンカーテンによる遮光（循環器呼吸器病センター）
第二年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 紙類のリサイクル回収、ごみの分別の徹底、ペットボトルキャップの回収（機構全体） 雨水、厨房排水再利用による水使用の抑制（がんセンター） 節水コマの取付、井戸水の使用、敷地内の緑化（こども医療センター） 井戸水の使用、ゴーヤのグリーンカーテンによる遮光（循環器呼吸器病センター）
第三年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 紙類のリサイクル回収、ごみの分別の徹底、ペットボトルキャップの回収（機構全体） 節水コマの取付、井戸水の使用、敷地内の緑化、吸収式熱源省エネシステムの導入（H31.1～）（こども医療センター） 雨水、厨房排水再利用による水使用の抑制（がんセンター） 井戸水の使用、ゴーヤのグリーンカーテンによる遮光（循環器呼吸器病センター）

14 実施状況等に対する自己評価

<ul style="list-style-type: none"> 吸収式熱源省エネシステムの導入や、蛍光灯のLED化（一部）により、エネルギー使用の削減に努めているつもりだが、放射線機器など、医療機器の高度化や猛暑による電力需要増などで、なかなか電力の使用量が減っていないのが実態である。（こども医療センター） 厨房用自動洗浄機の給湯使用量を調査し、適正流量となる様に給湯配管へ減圧弁を設置した。（がんセンター） 県立病院として医療の質の担保と患者の安全を最優先に、個々の職員が「できることから始める」という意識を持ち、日常的かつ継続的に温室効果ガス排出に努めた。（循環器呼吸器病センター）
--